

■パブリックコメントの実施結果

該当ページ	御意見内容	協議会の考え方
P 4 9	<p>平時の生活路線に追加し、観光や移住促進なども促進を鑑み、「移動を止めない」なるべく行き止り感をなくせないかと考えました。</p> <p>鉄道の山都駅と塔寺駅をつないだ只見線と磐越西線の環状線によって、内外回りの会津管内周遊路線です。</p> <p>これは現実的ではありませんが、山都駅と坂下駅をつなぐ路線はいかがでしょうか。</p>	<p>本計画については、広域路線バスを対象としており、バス路線の新設については、バス事業者と連携し、需要と供給を見ながら検討してまいります。</p>
P 3 8	<p>若松駅、喜多方駅はハブ駅ですが、学生や観光客、県民の待合室を充実してほしい。ショッピングエリアやカフェなどがあればいいですが、飲み屋やお土産屋のみで、通勤通学者（平時利用する県民）は休憩できません。</p> <p>個々の停留所も大雪や大雨などの対策も一緒にご検討してほしいです。</p>	<p>P 3 8 施策 2-②の中に待合環境の整備について記載しており、ご意見のとおり、交通拠点となる公共・商業・医療施設等と連携して、広域路線バスと域内交通を乗り継ぐ際に、安全・快適に公共交通を待てる待合環境の確保について検討してまいります。</p>
P 6	<p>会津圏内の課題と主要施策「めざす方向性」はワクワクし希望に満ちています。現実経路は、学生と病院通いの方をメインとしていますね。仕方がないと思いますが、大型バスでの観光から個人や小さな集団での地域交通（タクシー含む）は期待されていると思います。</p> <p>会津地区の観光ポイントを開拓整備し、そちらにも足を向けさせる方策もありか、と思いました。</p>	<p>P 7 「3. 広域交通により保障する本圏域の活動機会」に記載のとおり、観光客が本圏域内の観光資源へアクセスできることも、本計画で保障する活動機会として設定しており、P 3 9 「施策 3-②」に記載のとおり、観光客等が、鉄道駅やバスターミナルから本圏域内の観光資源・観光スポットを迷わず快適に移動・周遊できるよう、様々な属性・国籍の観光客に届くような情報発信に努めてまいります。</p>
P 2 ~ 9	<p>大規模な会社や工業団地向けの交通手段は、バスへの拡大はご検討なさいますでしょうか。</p>	<p>バス事業者や関係者と連携し、必要に応じて検討してまいります。</p>